

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第16号 平成23年7月2日

達脇今期ワーストの被安打10 そして暫し休憩

またもや好機に1本出ず・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
D	3	0	3	2	1			9
G	6	0	1	1	0			8



7/2(土)三ツ池公園野球場に向き、デビルボンズとのオープン戦を行った。過去の戦績は、1勝1敗なだけに、今日は勝利し、対戦成績を優位にしたいところである。しかし、ゲームは終わってみれば、8：9の乱打戦を制され、残ったものは、暑さによるだるさと敗戦によるモヤモヤ感であった。ゲームは我がチーム後攻で始まった。そのマウンドを託されたのは、今日で自工会の影響で、少しの間休憩に入る達脇が上がった。先頭に中前に運ばれ早くも出塁を許す。後続を一ゴロに斬るが、その後は、4本の長短打と犠飛で、初頭に3点を失点した。しかし、その裏に相手守備の拙さと四球と犠飛で2点をあっさり返した。その後も相手守備の乱れと四球に安打を絡め、その後4点を挙げ、一挙6点を挙げ逆転に成功した。恐らくベンチの中では、今日は頂いた！と思う気持ちか湧いてと思う。2回は、両チーム共に0点、そして、ゲームは3回に動いた。先頭を四球で出塁させたが、その後2死を取った後、一振りか、右中間フェンスを越し、スリーランにより、同点とされてしまった。しかし、その裏の攻撃は、またもや相手守備の乱れと盗塁で1点を挙げ、再度リードの展開となった。しかし、この回は、大量得点の場面であっただけに、結果的にこの回を最小の1点に終わったのが、今日のゲームを決めたかも知れない。またゲームは動く。翌相手チームの攻撃、先頭を四球で出塁、その後2盗・3盗を決められ、3番に中前に運ばれ1点、その後、4番に左前に運ばれ2点目を与えた。だが、後続の三塁ゴロに今日サードに入った山田が、反応し2塁へ、そして1塁へ送球され、見事併殺にてこの苦しい場面を凌いだ。一塁の好捕球をしたこーすけはお見事！そして、まだまだ動く、ベース走者が入れ替わった後、2番哲也が放った左越えの打球で、智が一挙ホームインし、同点とした。ここで、逆転の場面であったが、深沢の打球は、ショート真正面の打球、一瞬、野手も走者も固まったが、ここは相手がゲッツーとし、最小の1点で切り抜かれた。時間的に最終回の5回、一死後、後続を四球で出塁を許す。その後、2盗を決められ、またもや、失点の場面、後続を三飛で切り、二死二塁、しかし、粘られた7球目を中越に運ばれ失点、しかし、哲也が盗塁刺しを決め、最小リードの1点を追い、最後の攻撃、先頭が三振で倒れたが、三四球得て、場面は、二死満塁の場面、しかし、転がす事が出来ずに、凡退し、敗戦となった。今日は久々のポジションだったり、にわかポジションだったり、本来で無い守備機会をメンバーがこなした。結果として、記録にかならない、エラーが失点と呼んだように感じた。内外連携、ベースカバーなどなど・・・ただ、草野球だけに、色んなポジションをこなさなければならぬ時はあるはず。だから、普段からメンバーや野球を観戦するなど、そのポジションの動きを頭に入れておく必要もあるでしょう！

次節は公式戦なだけに、今日のような事無く、暑さに負けず、すかっと勝利しましょう！